

2024年自治体キャラバン～塩尻市との懇談(2/19)実施

安曇野市との懇談(2/27)実施

## 「塩尻市では市長参加の懇談に」今年もそれぞれ成果を得ることができました。



↑ 塩尻市長との懇談

松本地区社保協は、2月19日塩尻市と「国保、介護、福祉等の制度改善に関する懇談」。市長はじめ部課長との懇談でした。参加した部課長は7名のうち5名が女性の方でジェンダー平等の視点でも進んだ自治体であると思いました。懇談には塩尻協立病院、健康友の会を含め7名が参加した。2月27日市長の参加はえられませんでした。安曇野市の部課長と懇談でした。安曇野市とは協立福祉会、健康友の会を含め10名が参加し「国保、後期高齢者医療、介護保険・高齢者施策」に係わる諸点について懇談した。

塩尻市 市長も参加してのなごやかな懇談でした。

「市長自ら介護現場は深刻だと認識している」と発言。

### 国民健康保険の改善について

●国保税の県統一に向けて、税率の引き上げについて再検討をお願いしたい。  
➡令和15年をめざして統一していくといわれているが、国保加入者は退職者等が多く高齢化している現状あり。定例会に提案して審議予定。低所得者については考慮する。

### 保険証の存続について

●健康保険証の存続を望む声がある中で進められているがマイナー保険証を持っていないがどうすればいいかという不安な声が多く聞かれている。  
➡7月の切り替え時には資格確認証はプッシュ式で送付予定。広報でも知らせていく。

### 介護保険・高齢者施策について

●市独自の介護サービス利用助成金は好評なので引き続き予算確保をお願いしたい。  
➡物価高騰対策として1月10日県より通達あり。申請によって受けられる補助金制度であるので申請してもらいたい。

●加齢性難聴者への補聴器購入助成について  
➡助成については補助している自治体について調査している段階。  
●深刻な介護職員の不足に対する対応は  
➡有資格者へのキャリアアップのための補助金を支給し、離職防止のサポートにつなげている。独自に無資格者への支援も行っている。

市長からも、松塩筑老人施設組合の管理者もやっており、深刻な現状を受け止めている。みなさんからも知恵をお借りしたい。との発言もありました。

### 生活保護の改善について

●生活保護受給者の自家用車の保有について新たな通達がだされたが、塩尻市でも柔軟な対応をお願いしたい。  
➡新たな通達は受け止め、3市で足並みを揃えていく。要件に当てはまれば認めていく。車の保有者は現在8名。柔軟な対応をしていく。  
●受給者へのアンケートからは物価高騰の中で生活は厳しくなり、体調を崩すケースもある。  
➡国と県からの給付金があり、3月末から支給が始まる。苦しい状況を県・国に報告していく。



## 学校給食の無償化について

●県に学校給食無償化に向けて要望書を提出した。市としてもぜひ実施に向けて検討してほしい。

➡一食 50 円の公費負担を実施（4500 万円）している。国の動向を見守りながら市としても要望していく。

## 高齢者の日常の交通手段について

●NPO の事業について説明。市としての高齢者の交通手段の確保について力を入れてほしい

➡のる一ととステップくんがあるが、不便な面もあることは理解しているさらに社協も含めてチームで検討をすすめたい。

## 安曇野市との、国保、後期高齢者医療、介護保険・高齢者施策に関する懇談。

### 介護の確保に向けて、補聴器への助成制度導入実現など前向きな回答を得る



安曇野市議員協議会室にて懇談

➡予算は 150 万。1 件 3 万円が上限。対象は低所得世帯、非課税世帯となるか。7 月からの実施を目指し、市内耳鼻咽喉科の医師たちと要項整備を行っている。

## 保険証の存続について

●健康保険証の存続と 7 月の切り替え時 資格確認証をプッシュ型で発行をしてほしい。

➡すでに資格がある人にはプッシュ式で発行をしていく予定です。ただ新規（例：社保→国保への変更）の方は申請をしていただければ発行をします。

## 国民健康保険の改善について

●国保税の県統一に向けて国保税を税率の引き上げは考えずにすすめて 保険料の引き下げを再度、検討してほしい。

➡6 年後にむけて県の国保税一本化をめざして進められていることは承知している。ただ、市では必ずしも県一本化だけの運用を検討しているわけではない。対案としては 2 次医療圏内（中信地域）での統一していく等の検討案はある。

## 生活保護の改善について

●昨年 12.25 厚生労働省 生活保護受給者の車の保有について新たな通達が出されました。安曇野市でもさらに柔軟な対応をお願いしたい。物価高騰の中 保護費の増額を国に求めてほしい。

➡現在、通勤、通院利用で車保有者が市内に 5 人いる。通勤通院以外での多様な車使用が認められたということなので、各ケースで応じた対応を今後も進めていきたい。

## 介護保険・高齢者施策について

●介護事業所・福祉事業所への支援金をぜひ、市独自に上乗せして実施してもらいたい。とくに訪問介護事業所の経営は危機的な状況である。

➡県の支援金と同じように市独自でも支援金を出していく。訪問介護については地域加算が算定できるので、その対応をしていただきたい。

●福祉用具・住宅改修の「償還払い」から「現物給付」にするように再度要望したい。その対応をしている自治体が県内でも増えてきている。

●加齢性難聴者に対する補聴器購入助成について予算計上を評価したい。具体的な内容は？

## 高齢者の日常の交通手段について

「あづみん・のる一と」さらなる充実を望みたい。

➡「あづみん」は、現在 1 日 350~400 人が利用している。エリア内（例えば三郷地域）だと、その範囲内でもどこでもいけるが、エリア外だと決まったところにしか行けない。そのルールで運行しているので、利用者は理解をお願いしたい。

